

各球団の総合満足度スコア

1. 各球団の総合満足度スコア平均値と平均値に基づくランキング
2024年1月下旬調査 2023年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度 スコア平均値	標準偏差
1位	オリックス	77.78	14.41
2位	阪神	76.08	14.93
3位	広島	70.03	15.71
4位	横浜DeNA	69.54	14.75
5位	ヤクルト	68.02	13.85
6位	ロッテ	66.22	13.99
7位	日本ハム	63.62	18.63
8位	西武	63.53	16.99
9位	ソフトバンク	63.00	17.07
10位	楽天	60.69	19.38
11位	巨人	57.39	17.26
12位	中日	48.72	18.78

順位	球団	総合満足度 スコア平均値	標準偏差
1位	オリックス	74.21	15.36
2位	ヤクルト	73.87	14.25
3位	ソフトバンク	72.92	16.36
4位	横浜DeNA	70.45	15.95
5位	西武	66.75	16.10
6位	阪神	65.92	14.93
7位	楽天	65.82	16.34
8位	ロッテ	65.01	15.13
9位	広島	64.69	15.15
10位	日本ハム	60.97	18.46
11位	巨人	60.33	18.45
12位	中日	51.89	20.38

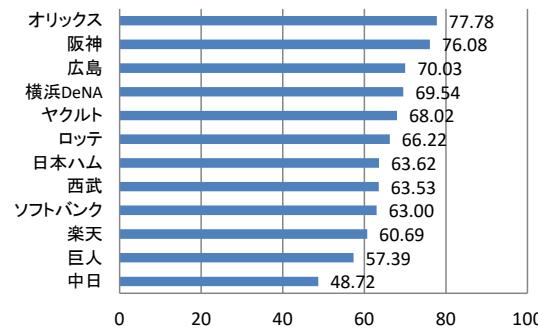
2022年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度 スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	75.03	15.68
2位	ヤクルト	73.91	16.71
3位	オリックス	73.35	17.12
4位	ロッテ	72.42	16.56
5位	横浜DeNA	70.76	16.60
6位	楽天	70.00	15.83
7位	阪神	66.80	17.57
8位	西武	65.57	17.62
9位	広島	65.07	17.48
10位	巨人	64.54	17.70
11位	日本ハム	61.70	18.92
12位	中日	55.18	19.15

2021年1月下旬調査

順位	球団	総合満足度 スコア平均値	標準偏差
1位	ソフトバンク	74.89	19.10
2位	広島	72.81	17.62
3位	西武	71.50	18.41
4位	横浜DeNA	71.23	16.37
5位	楽天	70.14	17.44
6位	ロッテ	68.63	15.87
7位	巨人	68.45	16.15
8位	日本ハム	65.32	17.49
9位	阪神	64.27	18.29
10位	ヤクルト	62.85	18.31
11位	中日	59.59	17.75
12位	オリックス	59.28	18.37

2024年1月下旬調査における各球団の総合満足度スコア平均値のグラフ

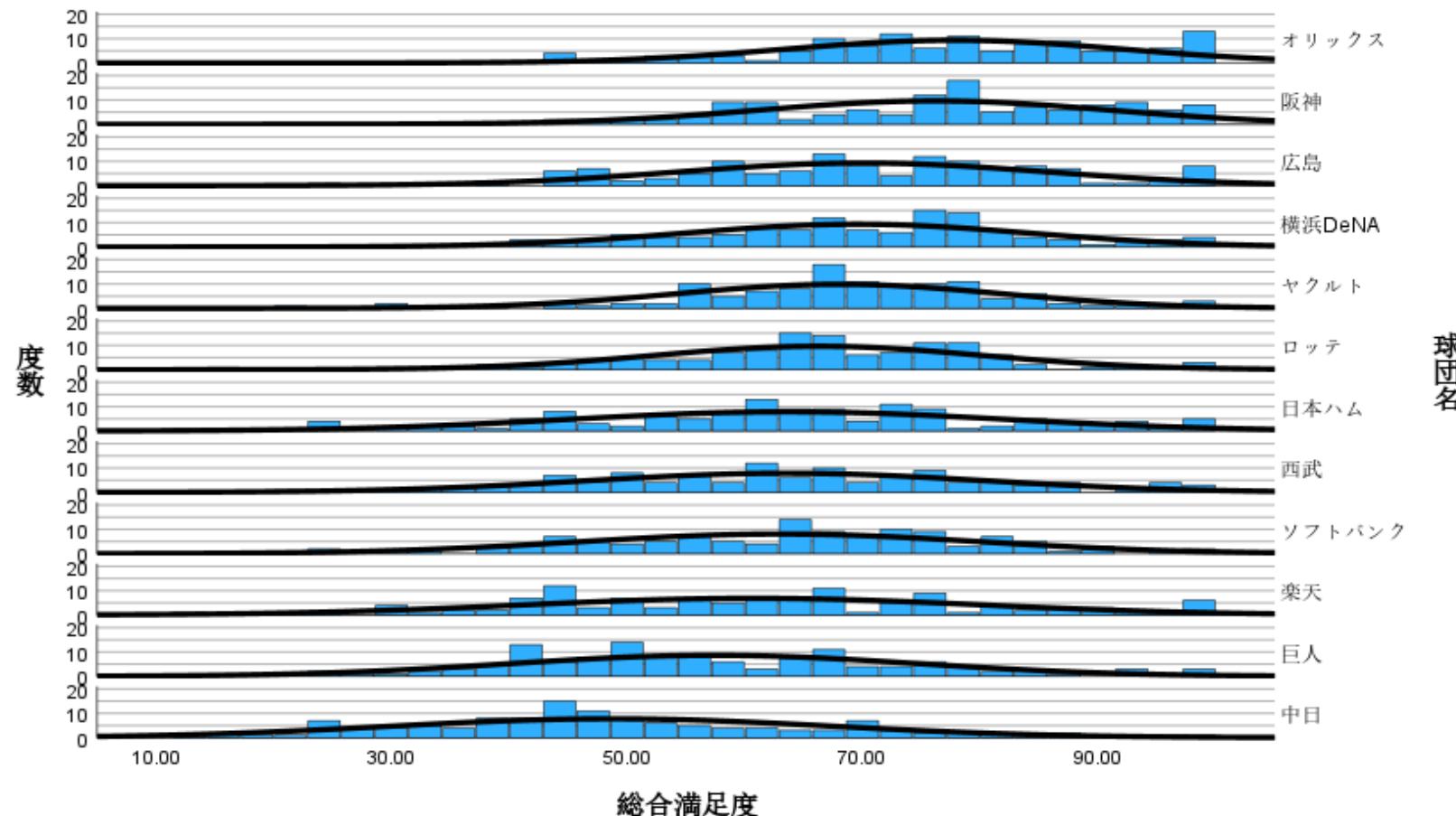


2つの球団のスコア平均値の差の検定: 5.0%最小有意差(I.s.d)の目安

I.s.d = $1.96 * \sqrt{(2 * 15.0^2 / 120)} = 3.80$
ただし、スコアが正規分布に従い、各球団からのサンプリングが独立で、それぞれのサンプル数はn=120。標準偏差差はσ=15.0とした場合の値である。

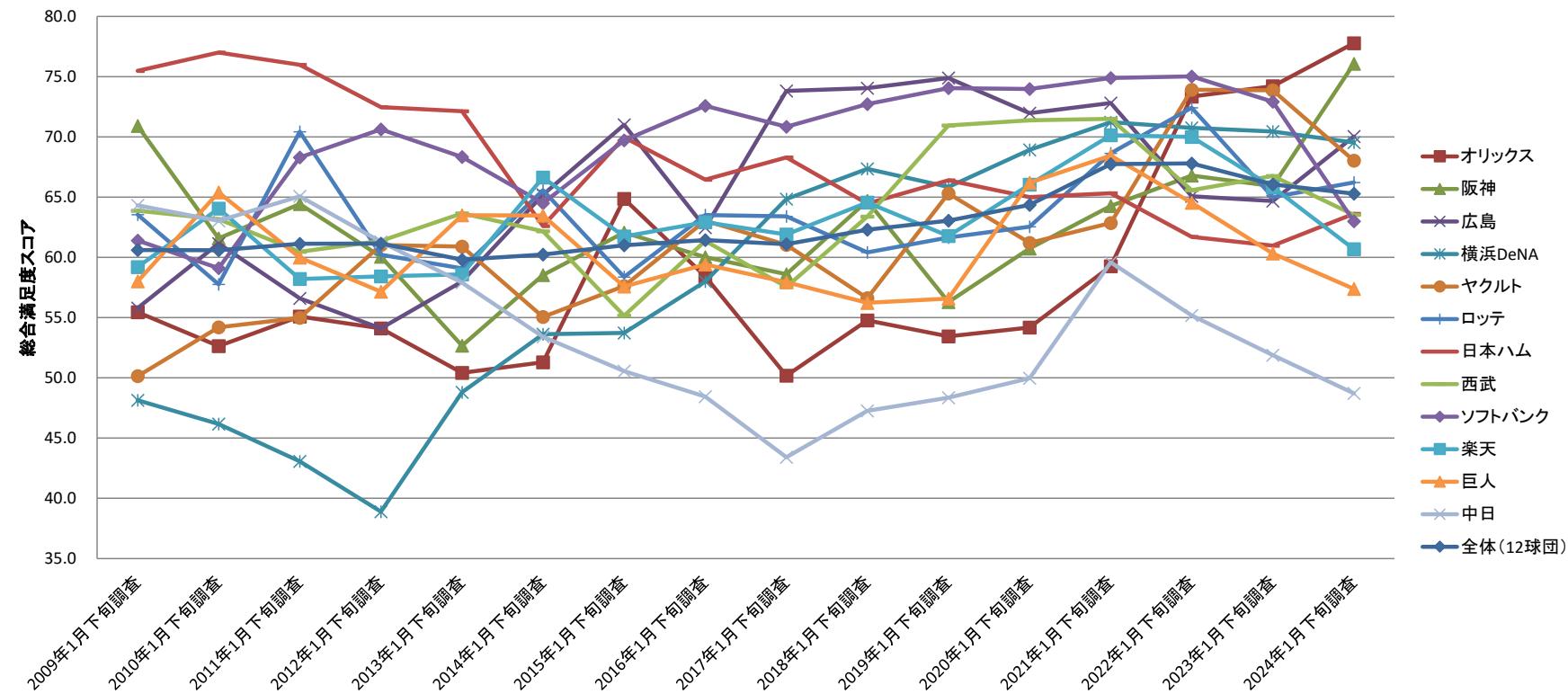
- 総合満足度スコアは、共分散構造モデルから求まる「総合満足度の潜在変数スコア」を標準化したものである。
- 具体的には、「総合的な満足度」と「総合的に見た場合の理想への近さ」の2項目の評価に重きを置き、さらに「チーム成績」「チーム選手」「球場」「ファンサービス・地域貢献」「ユニホーム・ロゴ」等の項目の総合満足度への影響度を考慮しながら、各項目の評価の加重平均として算出している。
- これらの項目のウェイト(因子スコア・ウェイト)は、共分散構造モデルにもとづき求めている。

2. 各球団の総合満足度スコアの分布（2024年1月下旬調査）



- 各球団の総合満足度スコアの分布は、おおむね対称な正規分布に近い形状をしている。
- 一方、今回の調査では、全般的に、高評価の回答者の割合が増えている。コロナ禍での特別なシーズンであったことの影響が示唆される。
- 各球団の評価については、ソフトバンク、ヤクルト、オリックス、ロッテの順で高評価である。

3. 各球団の総合満足度スコア平均値の経年変化



■オリックス：2024年1月下旬調査では総合満足度1位(77.8)となった。2023年シーズンでは、パ・リーグで3連覇し、日本シリーズでは敗戦したものの、2年連続で総合満足度が1位となった。「3連覇してチームも強くなりファンも増えて満足しかない」「生え抜きの選手が活躍して3連覇している。」「応援したくなる試合の運びが多く、ファンとの一体感も楽しい」などの声が目立った。選手・チームの魅力の向上、ファンサービスの充実に対する高評価など、総合力を感じる結果となっている。

■阪神：2024年1月下旬調査では総合満足度2位(76.1)となった。2023年シーズンでは、セ・リーグでの優勝、日本シリーズでも勝利し38年ぶりの日本一となった。最高の成績を収めたこと(強い阪神タイガース)が、近年の選手の育成、球場の設備・サービス、ファンサービス等の取組みの高評価にもつながり、高水準の総合満足度を得ている。

■広島：2024年1月下旬調査では総合満足度3位(70.0)となった。2023年シーズンでは、チーム成績はセ・リーグ2位と好成績であり、監督・選手の頑張り、さらに球場の設備・サービス、ファンサービスの良さを評価する声が目立った。

■横浜DeNA：2024年1月下旬調査では4位(69.5)となった。今回もファン目線のイベントや球場の雰囲気や過ごしやすさを絶賛する声が目立った。チーム成績の良さを評価する声も見られるが、勝利(優勝)を望む声が目立つ。今後も、ファンサービスの維持・向上を継続し、やはり優勝することが最大の課題といえる。